

使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に係る3者協定の締結について

1 協定の目的

この度、HOYA株式会社アイケアカンパニーが行っている使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収事業に参加し、今年7月の「米沢市プラスチックごみゼロ宣言」に伴うプラスチックごみ減量及び資源化の取組のひとつとして、協定を締結するもの。

2 構成団体

- (1)米沢市
- (2)山形県立公立大学法人 山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学
- (3)HOYA株式会社アイケアカンパニー

3 プロジェクトの概要

使い捨てコンタクトレンズの空ケースは、ほぼすべての商品がポリプロピレンという 素材で作られており、非常にリサイクルに適している。そのため、HOYA株式会社アイケアカンパニーでは2010年より空ケース回収活動を開始し、再資源化を実施している。

空ケースのリサイクル支援業務に障がい者を雇用、また、リサイクルによる収益は、公益財団法人日本アイバンク協会に全額寄付しており、社会貢献にもつながるSDGsな活動となっている。

2013年から様々な企業、学校と協働し、2022年5月末現在で学校1982校 企業840社、自治体31団体が参加している。

自治体、学校との3者協定は、令和3年2月の大阪府和泉市・桃山学院大学の例に次いで、全国で2例目となる。

4 役割・回収方法

HOYA株式会社アイケアカンパニーが、回収箱の提供、運搬費を負担。

米沢市と大学は、各々の施設に回収箱を設置し、収集、郵送等を行う。

5 回収箱設置場所

- (1)米沢市役所
- (2)ナセBA
- (3)置賜総合文化センター
- (4)山形県立米沢栄養大学
- (5)山形県立米沢女子短期大学
- (6)山形県公立大学寮
- (7)コミュニティセンター17か所

6 連携・協力の効果

本市と米沢栄養大学・米沢女子短期大学が連携、協力し、この取組を行うことにより、多様な周知方法による展開が期待されるとともに、多くの市民のプラごみ削減への理解が深まり、行動変容へとつながることが期待できる。

さらに、学生がこうした社会課題に主体的に参画することで、地域のコミュニケーションが活発となり地域活性化につながる。